

マリンカルチャーセンターのあり方について

資料3

類似施設運営事業者の意見

1 施設のポテンシャル

- ・海に近いレジャー施設として健康増進や女性の美容志向の流れをつかんだ活用が可能。
- ・現在に比べて地元雇用を大幅に増やすことが可能。

2 施設改修の必要性

- ・施設や展示は全面的な改修等が必要。
- ・何にでも利用できる施設よりも目的を絞った方がよい。その方が投資効率が上がる。

3 運営の自由度

- ・運営に対する事業者の自由裁量が認められるかが重要。
- ・現在の指定管理制度（5年間）は投資するには期間が短い。

今後の方針

1 抜本の見直し

東九州自動車道が北九州市から宮崎市まで全線開通した中で、民間事業者の有する企画力等を活かしてこれまで以上に県南地域の活性化に寄与する施設となるよう、民間事業者から提案を募集する。

なお、募集の際に意欲的な提案が受けられるよう、県は佐伯市と協力して必要な支援を行う。

2 暫定措置

学校等から来年度の予約を既に受けていること、並びに民間活用の準備期間を確保するため、次期指定管理期間は平成30年3月までの1年間とする。